

**UiPath-ARDv1**

# **UiPath RPA デベロッパー上級資格試験**

## **v1.0**

### **試験記述文書**

## 目次

<b>UIPATH 2020.10 の試験内容を更新</b>	<b>4</b>
<b>試験内容が UIPATH 2020.10 から 2021.10 に更新されました</b>	<b>4</b>
<b>試験概要</b>	<b>4</b>
<b>想定受験者</b>	<b>4</b>
最低限の受験資格を持つ候補者	4
<b>製品</b>	<b>6</b>
<b>試験範囲</b>	<b>6</b>
<b>試験項目</b>	<b>6</b>
UiPath Studio	6
UiPath Studio – アクティビティと各種プロパティ設定	6
UiPath Studio – REFramework (Robotic Enterprise Framework)	7
クラシック セレクター	7
.NET クラスとオブジェクト	9
高度なメソッド	9
エラー処理とトラブルシューティング	9
UiPath Orchestrator の活用	9
<b>リファレンスされる環境、アプリケーション、およびツール</b>	<b>10</b>
<b>推奨トレーニング・ハンズオン経験・実務経験</b>	<b>10</b>
推奨試験準備	12
<b>試験の詳細</b>	<b>12</b>

## 重要な注意点

UiPath は、不正行為や誤った情報の兆候がないか、インターネット上におけるあらゆる活動を監視しています。

UiPath は、偽の試験や情報をユーザーに販売している多数の悪徳サイトがあることを認識しています。

本試験の悪用・不正行為であると判断される場合は、直ちに法的措置を講じます。

また、UiPath 認定資格受験者は、悪徳サイトのサービスの購入はしないようにお願いします。

## UiPath 2020.10 の試験内容を更新

### 試験内容が UiPath 2020.10 から 2021.10 に更新されました

試験の準備には、強調表示された試験セクションと試験のトピックを含めてください

#### 試験概要

UiPath RPA デベロッパー上級資格試験 (UiARD) 認定者は、UiPath Studio・UiPath Robot・UiPath Orchestrator などの UiPath 製品技術と、REFramework (Robotic Enterprise Framework) 上の開発の自動化を構築、またはリードする能力をもち、知識だけではなく実務経験を持つことを期待されます。

本試験認定者は、REFramework (Robotic Enterprise Framework) 上で複雑な RPA ソリューションを設計し、独立して開発するための、より深いレベルの知識とスキルを評価することを目的としています。

本試験認定者は、上級 RPA デベロッパー・ソリューション アーキテクト、RPA アーキテクトなどの役割に相当する専門知識のレベルを表す資格です。

#### 想定受験者

UiPath アドバンスド RPA 開発者 v1.0 試験の対象ユーザーには、次の項目が含まれます。

- RPA デベロッパー
- RPA アーキテクト・ソリューション提供者・RPA エンジニア、ソリューション アーキテクト、プロセス オートメーション アーキテクトなど、RPA 開発において専門知識を必要とする役割

#### 最低限の受験資格を持つ候補者

最低限の受験資格を持つ候補者は次の項目が含まれます。

- RPA デベロッパーとして 6 ヶ月以上の経験
- 豊富な実践的な経験を持つ高度なレベルでの正式なトレーニングを完了している

- 技術的に熟練し、独立して働く知識/スキルの保持

## 製品

試験に使用する製品・バージョンは次のとおりです。

- UiPath Studio バージョン 2021.10
- UiPath Robot バージョン 2021.10
- UiPath Orchestrator バージョン 2021.10

## 試験範囲

本試験には、次の試験項目が含まれています。

- UiPath Studio
- アクティビティと各種プロパティ設定方法
- REFramework (Robotic Enterprise Framework)
- クラシック セレクター
- .NET クラスとオブジェクト
- メソッドの高度な活用方法
- UiPath Orchestrator の活用

## 試験項目

最低限の受験資格を持つ候補者によって実行されるタスク：

### UiPath Studio

- UI Automation アクティビティ、Excel アクティビティ(クラシック デザイン エクスペリエンス) からバックグラウンド ウィンドウを操作する場合の設定方法を識別、説明できる
- ステート マシンとフローチャートおよびシーケンスの使用法
- アクティビティ プロジェクトの設定とクラシック ライブラリの設定および使用法を説明する

### UiPath Studio – アクティビティと各種プロパティ設定

- Excel、電子メール、および PDF をなどの処理を自動化するために、アクティビティがどのように使用されているかを特定、説明、およびデモンストレーションできる

- [Windows メッセージの送信] の使用と [シミュレート] の違いを特定し、説明できる
- クラシック UI アクティビティのプロパティの主要なプロパティを識別、説明、および適用できる  
例えば、エラー、実行前 / 実行後の待機時間、およびターゲット
- さまざまなクラシック UI 同期アクティビティの使用について説明し、デモンストレーションができる  
例えば、要素が存在し、要素を検索し、テキストを検索
- UiPath Studio におけるクラシック デザイン エクスペリエンスによる、構造化データ抽出方法の説明と応用ができる
- **追加のトピック：製品 Ver2020.10：**  
Attended ロボット による「バックグラウンド プロセス」の利用、トリガースコープの利用方法とピクチャーインピクチャーによる実行

## UiPath Studio – REFramework (Robotic Enterprise Framework)

- Orchestrator キューと REFramework テンプレートを使用した自動化プロセスの構築方法を理解する
- REFramework 内でキューと表形式データがどのように使用されるかについて説明できる
- プロセス タイプ (トランザクション、線形、反復型) に応じて REFramework テンプレートを編集する
- ディスパッチャーとパフォーマーの違いについて説明できる
- ディスパッチャーを使用してトランザクションアイテムのアップロード方法、およびパフォーマーを使用した上でのキュー使用し、トランザクション処理方法を説明できる
- Config ファイル上の Settings と Asset の使用方法を説明できる
- REFramework 2021.10 機能を理解し、説明する

## クラシック セレクター

- 堅牢なセレクターの作成方法を決定し、説明できる  
例えば、動的セレクターと静的セレクター
- UI Explorer でタグと属性、動的セレクター、アンカー ベースなどを使用して、既定のユーザー補助フレームワーク、または UI オートメーション フレームワークで堅牢なセレクターを作成する方法について説明できる

- 完全セクターを使用する場合と部分セクターを使用する場合の違いについて説明できる

## .NET クラスとオブジェクト

- 文字列操作、正規表現、および文字列メソッドの使用方法を特定し、説明できる
- 複雑なデータ構造とデータ操作を操作する方法について説明できる  
例えば、データテーブルとコレクション
- データテーブルなどの変数の初期化方法を説明できる
- データテーブルをフィルタする方法を説明できる
- コードの呼び出しとメソッドの呼び出しのアクティビティの使用方法を説明できる

## 高度なメソッド

- UiPath コーディングのベストプラクティスを説明、方針を決定できる  
例えば、コーディネート規約・ガイドラインを活用してコードを確認できる
- ライブラリ コンポーネントを作成および使用し、より小さなプロセス コンポーネントを作成することで、複数のワークフローをモジュール化する方法を説明できる
- GIT を使用したバージョン管理を理解する
- ワークフロー アナライザの機能と新しいルールの作成方法について説明できる

## エラー処理とトラブルシューティング

- [トライキャッチ(Try Catch)]、[スロー(Throw)]、[再スロー(Rethrow)]、[リトライスコープ(Retry Scope)] などのエラー処理関連のアクティビティの説明、使用ができる
- プロセスのトラブルシューティング、デバッグ、および変更使用するアクティビティや機能を調べ、説明できる
- 分かりやすい、ログメッセージ (既定またはユーザー定義) の書き方、UiPath Studio にてログメッセージを使用したプロセスの診断およびデバッグ方法を説明する Orchestrator にてこれらを分析する

## UiPath Orchestrator の活用

- UiPath Orchestrator のキューとアセットの操作方法を説明できる

## リファレンスされる環境、アプリケーション、およびツール

最低限の受験資格を持つ候補者は、次の環境、アプリケーション、およびツールの使用経験があることが想定されています：

- SDLC (ソフトウェア開発ライフサイクル)
- Microsoft Excel
- Microsoft Office Suite (例: Exchange および Outlook)
- JSON および XML
- .NET (VB および C#)
- MS Visual Studio (オプション)
- 仮想マシン (VMs)
- ERPs
- ブラウザ (IE、Chrome 等)
- Web ページ要素 (例: HTML)
- バージョン管理
- UiPath Studio および UiPath Studio – Robotic Enterprise Framework
- UiPath Orchestrator
- UiPath Robots

## 推奨トレーニング・ハンズオン経験・実務経験

### UiPath Academy

以下は、最低限の受験資格を持つ候補者が本試験の準備に推奨される学習パスです。

- UiPath アカデミー トレーニング：
  1. [RPA デベロッパー基礎](#)
  2. [RPA デベロッパー上級プログラム](#)
  3. [UI 操作を伴わない処理の自動化コース](#)
  4. [ワークフローアナライザー活用コース](#)
  5. [Activity Project Setting\(EN コース\)](#)
  6. [Invoke Method and Invoke Code \(EN コース\)](#)

- UiPath Studio、UiPath Robot、UiPath Orchestrator、REFramework (Robotic Enterprise Framework) など各種 UiPath コンポーネントを使用したハンズオン経験

**または**

- 実務経験：
  1. エンドツーエンドのプロセス開発に関与
  2. UiPath コード レビューの実行
  3. プロジェクトサポートの提供
  4. メンテナンスとサポートの提供
  5. プロジェクト仕様の作成と確認
  6. 本番バグのデバッグと修正
  7. 既存の自動化プロセスへの機能の追加
- UiPath Robot、UiPath Orchestrator、REFramework (Robotic Enterprise Framework) など各種 UiPath コンポーネントを使用したハンズオン経験

## 推奨試験準備

推奨される学習パスに加えて、UiPath RPA デベロッパー上級資格試験に備える練習問題も合わせてご利用ください。

- [練習問題](#)

## 試験の詳細

認定プログラム	UiPath 認定プロフェッショナル - RPA デベロッパープログラム
資格情報	UiPath RPA デベロッパー上級資格試験 (UiARD) 認定者
試験番号と試験のタイトル	UiPath RPA デベロッパー上級資格試験 (UiARD) 認定者 v1.0
前提条件の試験/認定資格	N/A
試験時間	120 分
合格スコア	70%
試験料金	英語版 \$200 (税別)/日本語版 ¥ 22,000 (税別)